移植皮膚

使用器具 評価ポイント —

火傷処置に使う移植用の皮膚を作る術式。培養液（黄色の液体）を火傷のない皮膚に投与してガイドラインの四隅にある4つの点をすべて切れば1枚の移植皮膚ができあがる。火傷の処置には一度に4枚の皮膚を使うため、最低でも4枚は作っておく必要がある。ちなみに、隣接した皮膚同士は四隅にある2ヵ所の点が重なる。その点にメスを入れるだけで2枚の皮膚の一辺を同時に切れるので、なるべく皮膚をまとめて作ったほうが処置に掛かる時間は短くなる。

培養液を注射器の最大まで吸引しておけば、4ヵ所の皮膚にガイドラインを表示させられる。

四隅にある4つの点にメスを入れれば、その皮膚の切り離しが可能。四辺をなぞる必要はない。

［手順］

❶	注射	培養液を皮膚に投与する
❷	メス	培養液を投与した皮膚を切り放す

2 Basic Technique

火　傷

使用器具   評価ポイント

火傷を治療する術式。火傷の上の血溜まりを吸引しておき、4枚の移植皮膚で1ヵ所の火傷を覆うように皮膚を置こう。あとはヒールゼリーで皮膚を定着させれば処置完了。移植皮膚を乗せたときに、血溜まりが発生すると皮膚が剥がれてしまうため、処置する直前に血溜まりを吸引し、素早く皮膚を乗せていこう。なお、火傷が悪化すると重度の火傷になり、火傷を治療するまえに重度の火傷の処置が必要になる。

複数の火傷が近くにある場合は、移植皮膚を火傷の中央に置き、別の火傷に乗ることを防ごう。

［手順］

❶	ドレーン	血溜まりを吸引
❷	ピンセット	4枚の移植皮膚を火傷に乗せる
❸	ヒールゼリー	4枚の移植皮膚を定着させる

評価ポイントに関わる要素

- 血溜まりが再発するまえに移植皮膚を定着させる

重度の火傷

使用器具   評価ポイント

黒く変色した火傷を取り除く処置。火傷が黒く変色すると先にこの術式を行なう必要がある。処置するときは、患部に冷却剤（水色の液体）を投与し、ガイドラインをなぞって患部を切り離す。切り離した患部を回収トレイに乗せれば処置完了。ちなみに、処置後の評価は患部の下にある火傷を治療したときの評価に影響するので、ここでは表示されない。

ガイドラインの点をすべてなぞれば切り離し可能。メスを使用したままポインタをスライドさせよう。

［手順］

❶	注射	冷却剤を患部に投与する
❷	メス	変色した皮膚を切り離す
❸	ピンセット	変色した皮膚をトレイへ運ぶ

評価ポイントに関わる要素

- 冷却剤の効果が切れるまえに変色した皮膚を切り離す
- 変色した皮膚を落とさずにトレイへ運ぶ

動脈瘤

使用器具   評価ポイント

動脈に発生した瘤を摘出して治療する術式。この病巣は、発生とともに瘤が成長し、一定時間で破裂するため、複数発生すると厄介になる。動脈瘤の処置は、まず収縮剤（茶色の液体）を瘤に投与し、ガイドラインにメスを入れて患部を切り離そう。切り離した瘤を回収トレイに乗せれば、摘出処置は完了。これまでの処置の仕方によって評価がなされる。瘤摘出後は、動脈のあいだの血溜まりを吸引し、ピンセットで血管を繋げる。最後に血管を縫合すれば処置完了となり、2度目の評価が表示される。ちなみに、血管の縫合が遅れると、血溜まりが再発して血管が離れ、摘出後からの手順をやり直すことになる。また、瘤を破裂させた場合も摘出後の手順を行なうのだが、その後の処置をミスなく進めたとしても、処置後の評価は「Bad」になる。

複数の動脈瘤が発生したら、瘤を破裂させないためにも、手早く瘤の摘出作業を行なおう。

［手順］

❶	注射	動脈瘤に収縮剤を投与
❷	メス	動脈瘤を切り離す
❸	ピンセット	切り離した動脈瘤をトレイへ運ぶ
❹	ドレーン	血溜まりを吸引
❺	ピンセット	血管を繋げる
❻	針と糸	血管を縫う

評価ポイントに関わる要素

- 動脈瘤を破裂させない
- 正しい場所に収縮剤を投与する
- 収縮剤の効果が切れるまえに動脈瘤を切り離す
- 瘤を落とさずにトレイへ運ぶ
- 血溜まりが再発するまえに血管をミスなく繋げて縫合する
- 縫合線の長さが規定以上あり、左右幅が正確
- 縫合の折り返しの回数が規定以上ある

巨大動脈瘤

使用器具   評価ポイント

巨大動脈瘤を摘出し、血管を繋げる術式。基本は動脈瘤と同じだが、こちらは血管が3本になっているため、患部摘出後の処置が変わる。瘤摘出後は、まず追加トレイの人工血管を3本の血管に繋がるように向きを調整して配置しよう。人工血管の処置は治療後の総合評価に影響する。配置のみで評価をした場合　配置の角度の誤差が5度以下なら「Cool」 6～10度のズレなら「Good」になる。ちなみに、11度以上ずれると「Miss」でやり直しだ。人工血管を配置したら、血管との結合部（3ヵ所）を縫合して処置完了。動脈瘤と同様で瘤が破裂すると、評価は「Bad」になる。

巨大動脈瘤では、破裂するタイミングの見極めが必要で、細かい作業も行なう。厄介な病巣だ。

［手順］

❶	注射	巨大動脈瘤に収縮剤を投与
❷	メス	巨大動脈瘤を切り離す
❸	ピンセット	切り離した巨大動脈瘤をトレイへ運ぶ
❹	ドレーン	血溜まりを吸引
❺	ピンセット	人工血管を置く
❻	針と糸	人工血管の結合部（3ヵ所）を縫う

評価ポイントに関わる要素

- 巨大動脈瘤を破裂させない
- 正しい場所に収縮剤を投与する
- 収縮剤の効果が切れるまえに巨大動脈瘤を切り離す
- 巨大動脈瘤を落とさずにトレイへ運ぶ
- 血溜まりが再発するまえに人工血管を乗せる
- 血管と人工血管の角度に注意してミスなく配置する
- 縫合線の長さが規定以上あり、左右幅が正確
- 縫合の折り返しの回数が規定以上ある